

自社のDXが失敗しないために 「真のDX戦略」を学ぶ

経営幹部のための DX戦略実践力 養成コース

■ ねらい ■

米国企業の約80%がデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組んでいる中、日本では50%強の企業しかDXに取り組めておらず(DX白書2021:IPAより)、中小・中堅企業のDX推進はもっと低いのが現状です。コロナ禍で浮き彫りになった、世界に比して大きく遅れているデジタル化の波が、昨今大きくなっています。この波は一過性のものではなく、第4次産業革命と言ってよいほどの大きな波であり、この波に対応できないと企業存続自体が危うくなります。

しかし、DXを推進したくてもどのように進めればよいのかわからなかったり、DXを推進しているけれども今までのIT化とどう違うのかわからなくなってしまっている企業が多いのも実状です。

本セミナーでは、第4次産業革命の波に対応し、未来に向けて自社を導いていくために必要な、経営幹部として知っておくべきDXの基礎知識や、自社や業界の課題・戦略、真のDX推進方法、次世代を担う人材の育成や人材戦略について体系的に学びます。また、様々な他社事例や受講者同士のディスカッションを通して、自社のための「真のDX戦略」を考える場を提供します。

■ ポイント ■

- 経営幹部として知っておくべきDXの基礎を知り、DX推進の土台を作る
- 自社や業界の課題・戦略、真のDX推進方法、次世代を担う人材の育成や人材戦略について体系的に学ぶ
- 様々な他社事例や受講者同士のディスカッションを通して、自社の未来を創るためのDX戦略を構築する

■ 対 象 ■

- 部長をはじめとした事業経営者とその候補者
- 取締役・執行役員・経営幹部の方々
- DX戦略や企業戦略を担う方

■ 講 師 (敬称略) ■

櫻井俊輔 ThreeX Design 株式会社 代表取締役

法政大学工学部卒業後、日立系ITベンダーにてシステムエンジニアとして就職。勤怠管理システムの顧客適用業務として要件定義・設計・開発・テストに従事。2002年、専門学校教員に転身し、教師業を通して相手が理解できる伝え方の研究を行う。システムエンジニア／プロジェクトマネージャを育成する3つの学科の学科長を歴任。その後、新興コンサルタントファームに所属し、35以上のITプロジェクトに参画。プロジェクト内の情報伝達を円滑にすることで多くのプロジェクトを成功に導く。コンサルティング業務の傍ら、人材育成業務にも従事。人材教育体系の構築および、階層別研修・スキル研修などを企画・実施。

2017年1月に独立。IT歴36年、教育業歴23年、コンサルタント歴15年の経験を活かし、人材変革(HX)、電脳変革(DX)、企業変革(CX)の3つの観点で、企業の持続的成長のための変革支援を実施中。また、IT企業12社に対する3ヵ月間の新入社員研修や日本電子専門学校での講義をはじめ、一部上場企業、大手セミナー会社などで、10,000時間以上の講義・セミナー実績を有す。

【著書】『理系脳』のための『文系』を怒らせない技術

■開催日時

2024年 7月18日(木)～19日(金)

2024年 11月14日(木)～15日(金)

2025年 2月20日(木)～21日(金)

[時間] 2日間とも 10:00～17:00

■会 場 日本能率協会 研修室
(東京都港区芝公園)

■参加料 (税込)

●法人会員…121,000円/1名

●会 員 外…144,100円/1名

【1日目】 経営幹部として知っておくべき DX の基礎を知り、DX 推進の土台を作る

I. 時流とDX編

1. 現在は第4次産業革命の時代

- (1) デジタルトランスフォーメーション(DX)は流行り言葉ではない!
- (2) 産業の歴史と企業の明暗
- (3) 今、なぜDXなのか?
- (4) これからの社会がどのようなのか
国が目指している近未来の日本
- (5) 「2025 の崖」と今の日本の姿
- (6) 2040 年の世界の姿とは
- (7) 現状からの延長線で未来を考えてはいけない

ワーク 自社の属する業界の未来を考える

ワーク 未来を見据えた場合の自社の課題を考える

2. DXとはそもそも何か

- (1) コロナ禍で推進されたDX
- (2) デジタル化が真のDXではない! 真のDXとは?
- (3) DX がうまくいかない7大疾病
- (4) 業種別DX事例
- (5) DX を成功させる5つのステップ
- (6) 時代に合わせて企業理念を実現するシンカサイクル

ワーク 自社の「DX推進土壌度」を評価する

3. 真のDXを進めるためには経営幹部の覚悟が必要

- (1) シンカサイクルとDXを成功させる5つのステップの対応
- (2) IT が得意な若手が推進するのではなく、
経営幹部が推進しなければDXは実現できない
- (3) 経営幹部がデジタル技術を経営判断せよ
- (4) DX推進のビジョンを経営者の言葉で社員に語ることが重要

ワーク 自社のDX推進ビジョンを言語化する

II. 守りのDX編

1. 第1歩はデジタイゼーション(デジタル化)から

- (1) 経営戦略=IT 戦略の時代へ
- (2) ほぼすべての業務がデジタル化できる!
デジタル化できる業務領域具体例
- (3) 自社業務の可視化ができないとデジタル化は進まない
ワーク 自社業務の可視化度合いを考える
- (4) 業務フローや業務マニュアルの重要性
- (5) IT は外部に頼むのではなく、内部で対応する時代へ
- (6) IT 部門はコストセンターではなく、プロフィットセンター
- (7) 守りのDX事例

ワーク 自社のIT推進体制やIT投資をあり姿を考える

2. 守りのDXを支えるデジタル技術・手法と他社導入事例

- (1) クラウドとSaaS
- (2) 業務自動化するRPA
- (3) システムの内製化を促進するノーコード・ローコード

3. 業務改善・業務効率化を促進するRPA

- (1) 効率化の選択肢としての自動化(RPA)
- (2) RPA 導入に成功する企業・失敗する企業
- (3) RPA 導入のステップと勘所
- (4) 代表的なRPAツール

デモ RPA ツールで業務を自動化する具体的事例デモ

ワーク 自社における守りのDX推進を考える

【2日目】 自社の未来を創るためのDX戦略を構築する

III. 攻めのDX編

1. デジタイゼーションを目指すことが自社の未来につながる

- (1) トランスフォーメーション(変革)とは
- (2) ビジネスモデル変革の具体例
- (3) 真のDXは会社を作り変えること(企業変革)である
- (4) 攻めのDXには2つの軸がある
- (5) 世の中の変化の先を知る

ワーク 攻めのDXに関するグループディスカッション

2. 既存の産業を脅かすデジタル技術と他社導入事例

- (1) 5Gがもたらすネットインフラの革新
- (2) 人工知能(AI)はどこまでできるのか
- (3) いま、SFの世界が現実になりつつある!
最新ロボット事例と産業界での活用
- (4) 工場の可視化をすすめるIoTとデジタルツイン
- (5) なんか怪しそうと思われているブロックチェーンが
未来の基盤技術になる!?
- (6) ビジネスのあり方を変える仮想現実(VR)・
拡張現実(AR)の世界
- (7) いままでの常識が非常識になる3Dプリンタの世界

ワーク 最新デジタル技術の自社活用アイデアを考える

IV. 真のDX戦略編

1. DX推進の実行部隊の作り

- (1) 経営幹部の右腕となるDX推進実行部隊形成のススメ
- (2) DX推進チームの立ち上げ方と最適なメンバー構成
- (3) DX推進チームによるプロジェクト推進方法
- (4) DXを成功させるための社内展開実践法

ワーク 自社におけるDX推進チームを考える

2. 次世代を担う人材育成・人材戦略

- (1) AI人材を育てればDXが進むわけではない
- (2) 次世代人材に必要なスキル要素・人間の要素
- (3) 既存社員を「BPI人材⇒ICT人材⇒DX人材」へと進化させる
- (4) 次世代人材の獲得法 採用 VS 育成

ワーク 自社における人材戦略を考える

3. 真のDX戦略策定

ワーク 自社の「真のDX戦略」をまとめる

参加者の声

- DXの他社事例や最新のトレンド紹介などからDXのXに繋がるヒント探しが役に立った。
- 攻めと守りのDXを両利きの経営に模して、お話し分かりやすかった。今後のDXの進め方について、やるべきことが明確になりました。
- 具体的にDXの社内の取組みや導入の仕方が分かりやすかった。参加者の方と意見を交わして他社の状況を確認でき、よりよかった。
- 教材のボリューム・内容もよく、講師の話し方も理解しやすかったです。

※内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

